

## 要約 京都の経営経済動向調査結果 (2011. 12. 27)

－2011年10～12月期実績と2012年1～3月期及び2012年4～6月期予想－

京 都 商 工 会 議 所  
担当：中小企業経営相談センター  
電話 (075) 2 1 2-6 4 6 7

### 自社業況が4期ぶりにプラス ～国内景気は懸念材料多く、先行きは慎重な見方～

#### 概 要

今期の自社業況は秋の観光シーズンや年末需要など季節的要因もあって、ほぼ横ばいの0.2ではあるが2010年10～12月期以来4期ぶりのプラスとなり、改善した。一方、東日本大震災による落ち込み後、緩やかながらも持ち直し傾向にあった国内景気は、円高・ドル安ユーロ安、さらにタイ洪水被害の影響懸念から足取りが重く、自社業況も2012年1～3月期、4～6月期は中小企業を中心に幅広い業種で再び下降を予測、慎重な見方となっている。

(注) 11月下旬から12月上旬にかけ同調査を実施し、598社中495社から回答を得た(対象は、京都府内に本社、本店などを持つ企業)。また10～12月期のBSI値は、7～9月期の景況感を基準に強気なら「プラス」、弱気なら「マイナス(▲)」で表している。算出方法は、上昇回答から下降回答を差し引き、2分の1を乗算。

#### I 国内景気動向

10～12月期のBSI値▲10.8(前期実績▲12.5)と、下降が続いた。今後の2012年1～3月期は▲15.1と下降を予測、続く4～6月期は▲0.5とほぼ横ばいとなり、厳しい見通しとなっている。

#### II 企業経営動向

自社業況(総合判断) 10～12月期のBSI値は0.2(前期実績▲8.3)とほぼ横ばいではあるが、4期ぶりの上昇となった。今後の2012年1～3月期は▲10.7、続く4～6月期は▲3.1と再び下降に転じる見通しとなっている。

※自社業況(総合判断)は、以下に続く「生産・売上高、工事施工高」から「資金繰り」までの6項目を総合的に判断したもの。

1. 生産・売上高、工事施工高 10～12月期のBSI値は、4.7(前期実績▲7.1)と4期ぶりに増加に転じた。業種別では、旅館・ホテル(38.1)、食料品卸(21.1)、繊維製品製造(20.9)など多くの業種で増加し、規模別でも大企業(6.4)、中小企業(3.9)とも増加した。今後の2012年1～3月期は▲11.8と減少し、続く4～6月期は▲0.2とほぼ横ばいの見通し。
2. 製・商品・サービス・請負価格 10～12月期のBSI値は、▲3.0(前期実績▲6.4)と下降した。業種別では旅館・ホテル(15.0)、化学・ゴム(5.8)、食料品卸(5.3)、小売業(4.6)で上昇したが、建設業(▲12.5)、繊維製造(▲11.1)など多くの業種で下降した。今後の2012年1～3月期、4～6月期も引き続き下降を予想している。

3. 経常利益 10～12月期のBSI値は0.5（前期実績▲12.0）とほぼ横ばいながらわずかに増加に転じた。今後の見通しについて規模別にみると、2012年1～3月期、4～6月期とも、いずれも減少を予想するが、中小企業の減少幅が大きく、規模間で差が見られる。
4. 所定外労働時間 10～12月期のBSI値は、6.6（前期実績▲5.9）と増加に転じた。今後の見通しについて業種別に見ると、2012年1～3月期は多くの業種で減少を見通し、続く4～6月期旅館・ホテル、繊維製品製造などでは増加、機械金属卸、建設業などでは減少を予想し、業種間で差が見られる。
5. 製・商品在庫 10～12月期の製・商品在庫は、「適正」とする企業が75.5%と概ね適正水準で推移したが、一部に過剰感が見られた。業種別に見ると、繊維製造や繊維卸、繊維製品製造など繊維関係と精密機械製造、窯業・土石で過剰感が見られた。今後は、繊維関係や窯業・土石などでやや過剰感が残るものの、全体としてはやわらぎ、概ね適正水準で推移する見通しとなっている。
6. 資金繰り 10～12月期のBSI値は▲1.8とやや悪化した。今後の見通しについて規模別にみると、大企業ではやや改善を予想するが、中小企業では悪化を予想している。

### Ⅲ 当面の経営上の問題点

「受注・売上げ不振」（65.9%）が前回に続き第1位になった。第2位は「過当競争」（31.3%）、3位に「製・商品（請負）価格安」（30.5%）、第4位に「原材料（燃）料高」（20.8%）、第5位に「人件費負担増大」（13.7%）が続いた。第6位は前回と同じく「為替問題」（12.5%）となった。

国内景気		実績			予想					
		2011年10～12月期			2012年1～3月期			2012年4～6月期		
		B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降
総計		▲10.8	15.4	36.9	▲15.1	9.4	39.6	▲0.5	21.3	22.2
規模別	大企業	▲13.1	9.9	36.1	▲10.8	12.9	34.5	2.2	24.1	19.7
	中小企業	▲9.8	17.6	37.2	▲16.8	8.0	41.6	▲1.4	20.3	23.0
業種別	製造業	▲10.8	14.8	36.4	▲14.2	9.3	37.6	▲0.6	20.3	21.5
	卸売業	▲8.6	18.8	35.9	▲14.8	9.4	39.0	6.2	28.1	15.7
	小売業	▲11.4	18.2	40.9	▲15.9	9.1	40.9	2.3	22.7	18.1
	建設業	▲16.7	6.1	39.4	▲16.7	6.1	39.4	▲6.1	9.1	21.2
	不動産業	▲17.7	0.0	35.3	▲14.7	11.8	41.2	▲11.8	11.8	35.3
	運輸・倉庫業	▲10.0	16.0	36.0	▲16.0	8.0	40.0	0.0	16.0	16.0
	サービス業	▲8.6	20.7	37.8	▲17.1	11.0	45.1	▲1.3	27.1	29.6

自社業況 (総合判断)		実績			予想					
		2011年10～12月期			2012年1～3月期			2012年4～6月期		
		B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降
総計		0.2	31.2	30.7	▲10.7	16.2	37.6	▲3.1	22.3	28.5
規模別	大企業	0.0	30.5	30.5	▲0.7	28.7	30.1	0.0	25.4	25.4
	中小企業	0.5	31.6	30.7	▲14.6	11.4	40.6	▲4.4	21.1	29.8
業種別	製造業	▲0.2	31.3	31.7	▲10.2	15.8	36.2	▲3.3	22.0	28.6
	卸売業	▲1.6	29.7	32.8	▲10.9	14.1	35.9	0.7	21.9	20.4
	小売業	9.1	31.8	13.6	▲11.4	9.1	31.8	0.0	22.7	22.7
	建設業	▲16.7	9.1	42.4	▲4.6	21.2	30.3	▲13.7	9.1	36.4
	不動産業	▲3.2	25.0	31.3	▲18.7	12.6	50.0	▲9.4	25.0	43.8
	運輸・倉庫業	18.0	48.0	12.0	▲16.0	12.0	44.0	8.0	28.0	12.0
	サービス業	3.1	37.5	31.3	▲11.3	21.3	43.8	▲4.4	26.6	35.4

※ B.S.I.値 = (上昇 [増加、他] - 下降 [減少、他]) ×  $\frac{1}{2}$